

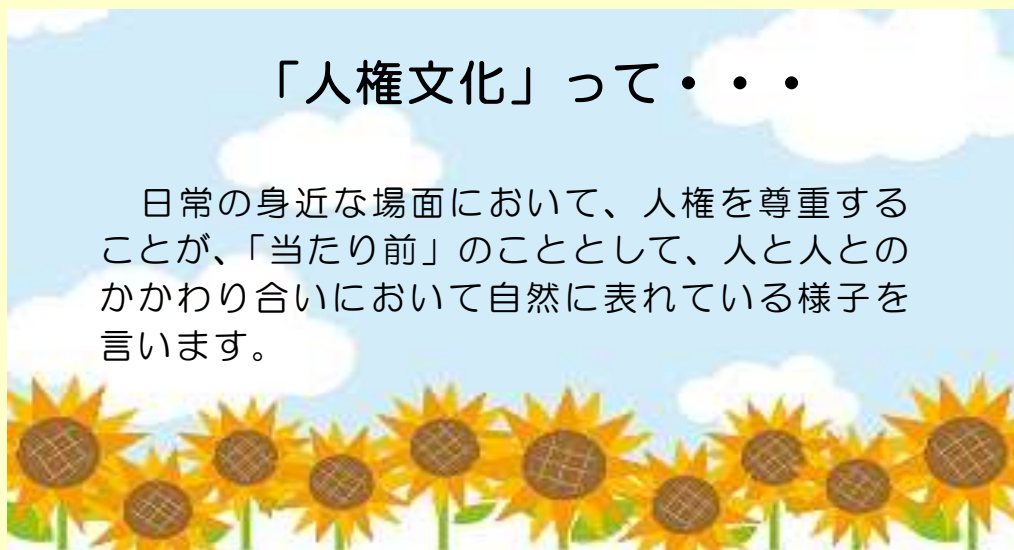
# ひとみ

発行  
相生市教育委員会  
(人権教育推進室)  
電話 23-7145  
平成27年8月号  
(第26号)

## 8月は、「人権文化をすすめる県民運動」 推進強調月間です

### 「人権文化」って・・・

日常の身近な場面において、人権を尊重することが、「当たり前」のこととして、人と人のかかわり合いにおいて自然に表れている様子を言います。



### 人権文化あふれる社会にむけてのキーワード

#### □自分を受け入れる

長所も短所も含めてまるごとの自分を受け入れ、今の自分が好きだという感覚をもつことが大切です。

#### □相手を思う想像力

知らず知らずのうちに周りの人の人権を侵害してしまうことがあります。相手を思う想像力が大切です。

#### □支え合う心

人は、一人で生きているわけではありません。お互いを支え合って生きています。共生の心を持つことが大切です。

#### □感性を育む

自分の人権のみを主張すると、周りの人の人権を侵害することがあります。人権を侵害した時の相手の痛みが分かる感性を育むことが大切です。

#### □つながる命を感じる

私たちの命は、祖先から受け継がれてきたものです。この尊い命を互いに守り合い、かけがえのない命を未来にバトンタッチすることが大切です。

「人権文化をすすめるために」(兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会)参照

挿絵：濱本 幸男さん (市内在住)

## 日常生活における人権チェックリスト

日常の身近な場面において、知らず知らずのうちに周りの人権を侵害してしまっていることがあります。また、人権を侵害している側は、相手にとって深刻な問題であると感じない場合があります。

誰もが幸せに暮らすために、自他の人権が侵害されていないか確認することが大切です。

日々の生活の様子を、今一度見つめなおしてみませんか。



### 【 家庭において 】

| 項 目                                                                               | チェック欄  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> 自分以外の家族あてに送付された郵便物やメール、携帯の履歴をかってに見ないようにしている。             | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 子どもの意見を無視したり、友だち関係を妨げたりせず、子どもの意見を尊重している。                 | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 子どもをしかる時、怒鳴ったり、体をたたいたりしないようにしている。                        | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 「男の子」「女の子」は、こうあるべきと決めつけた発言をしないようにしている。                   | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 高齢者だからという理由だけで、行動に制限を加えないで、高齢者の意見を尊重している。                | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 夫婦・恋人間において、ケンカで手をあげたり、友だち関係などを監視したりしないようにしている。           | はい・いいえ |
| <input type="checkbox"/> 掃除、洗濯、食事のしたく、ゴミだしなど家事や地域の活動など、性別・年齢に関係なく家族の一員として、協力している。 | はい・いいえ |



## 【 地域社会において 】

| 項 目                                                     | チェック欄  |
|---------------------------------------------------------|--------|
| □近所の人と話をする時、他の家のプライバシーに関わることは、話題にしないようにしている。            | はい・いいえ |
| □お年寄りや子どもや体の不自由な人などがこまっていたら、声をかけるようにしている。               | はい・いいえ |
| □スーパーなどで駐車場が満車であったり、急いでいたりする時でも、障害者用駐車区域に車を停めないようにしている。 | はい・いいえ |
| □町の点字ブロックの上には、自転車を止めたり、物を置いたりしないようにしている。                | はい・いいえ |
| □根拠のないうわさ話や悪口などは、信じないようにしている。                           | はい・いいえ |
| □高齢者運転マークや身体障害者マークをつけている自動車が、運転をスムーズにできるように意識している。      | はい・いいえ |



日常生活における人権チェックリスト  
(和歌山県発行) 参照

感じたり考えたりしたことは、ありませんでしたか。お互いの人権を尊重しようと思うと、相手の立場に立って考えることが大切ですね。また、チェックリストをもとに、ご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。一人では気づかなかった考え方や見方が発見されるかもしれません。



私達は、普段、特に人権を意識することなく過ごしている場合が多いですね。人権尊重の精神を文化にまで高めるためには、人権という視点で生活を見ていくこと、また、その意識を継続することが大切ですね。

誰もが暮らしやすい社会に向けて

# ユニバーサルデザインのまちづくり

誰もがくらしやすい社会づくりの一つに、ユニバーサルデザインの考え方があります。  
どのような考え方なのか、次の質問を通してお知らせします。

質問（Q1～Q4）に、「はい」か「いいえ」の矢印の方向に進んでみてください。

Q1 ユニバーサルデザインのことについて知っている

いいえ

次のページの  
①を見てください。

はい

Q2 ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いを知っている。

いいえ

次のページの  
②を見てください。

はい

Q3 ユニバーサルデザインの考え方で作られた『もの』を、知っている。

いいえ

次のページの  
③を見てください。

はい

Q4 ユニバーサルデザインの考え方は、もの作りだけでなく、人の意識や仕組みでも生かされている。

いいえ

次のページの  
④を見てください。

はい

わたしたちの町には、子どもから成人、お年寄り、男性、女性、外国人、視覚障害の方、聴覚障害の方、体が不自由な方、見ただ目で分かりにくい障害をお持ちの方、妊婦など、いろいろな方が暮らしています。  
その一人一人が人間として尊重され、誰もが暮らしやすいと感じる社会こそ、人権が文化にまで高まった社会と言えますね。



## ①ユニバーサルデザインについて

「ユニバーサル」とは、「すべてに共通の」「普遍的な」と訳され、「だれもが～しやすい」「だれもが～できる」という意味で使われます。年齢・性別・文化・身体状況など、人々が持つさまざまな個性や違いにかかわらず、最初から誰もが利用しやすいようになったデザインを言います。

## ②ユニバーサルデザインとバリアフリーのちがい(バリアフリーについて)

バリアフリーとは、障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともとは建築用語として使用されていました。現在では、障害のある人だけでなく、全ての人の社会参加を困難にしている物理的（歩道の段差など）、制度的（資格や免許等の付与の制限など）、文化・情報（点字、手話通訳、分かりやすい表示の欠如など）、心理的（心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識など）な全ての障壁の除去という意味で用いられています。

## ③ユニバーサルデザインの考え方で作られた『もの』



浮き出し文字と点字でアルコールを標記した缶



いろいろなにぎり方でフィットするはさみ



プッシュ部と側面にギザギザのきざみがついたシャンプー



タイヤなどが落ち込みにくい側溝のふた



入金、商品選び、取り出しなどがしやすい自動販売機



さまざまな条件の方が利用しやすい多目的トイレ



乗り降りがしやすくなったノンステップバス

## ④ユニバーサルデザインの考え方

「もの」や「施設」などハード面のユニバーサルデザインが整備されたとしても、それを活用する人次第で、いかされない場合が生じます。そこで、ユニバーサルデザインの考え方を人の意識や情報、社会参加の仕組みなどに取り入れることで、「だれもが暮らしやすい社会」「全ての人が支え合いながら、共に生きる社会」が実現します。いわゆる「ユニバーサル社会」づくりが進むと考えられています。

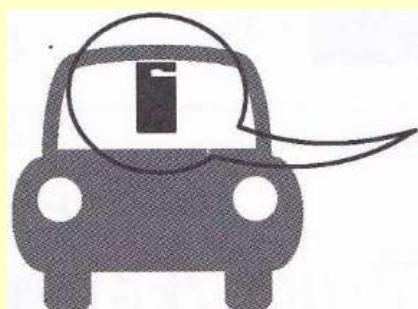
## パーキング・パーミット制度

一部の地方公共団体で導入されている制度です。障害者等用駐車スペースを必要とする対象者を明確化し、地方公共団体内共通の利用証を交付することにより駐車車両を識別し、不適正な駐車を抑止することを目的としています。地方公共団体により利用対象者の範囲、有効期限は異なります。利用対象者は、駐車時に利用証を車外に見えるように掲示することとされ、施設管理者は、駐車スペースが目的外に使用されているか否かを判断することができます。この利用証は、一部の地域では地方公共団体の連携による相互利用も進められています。

兵庫県では、「兵庫ゆずりあい駐車制度」として取り組まれており、相生市もこの制度を導入しています。



【設置例】



【提示例】



【長期利用証】



【短期利用証】



## 譲りあい感謝マーク

兵庫県が推進している「ユニバーサル社会」づくりの取り組みの中で、平成23年7月に、「譲りあい感謝マーク」のデザインが制定されました。内部障害者や難病患者の方など、配慮の必要なが外見からわかりにくい人がいます。

譲りあい感謝マークは、バスや電車での座席の譲りあいをはじめ、そうした方々の社会参加を応援し、みんなに優しい環境づくりを進めていこうというものです。譲りあい感謝マークのグッズ（ピンバッジやキーホルダー）は、外見から配慮の必要ながわからない方がつけています。周りの方の気遣いで、とても助かることがあります。譲りあいの心で、助け合い、支え合えるといいですね。

内部障害：心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓など、身体の内部の障害のことです。

難病：原因が不明で治療方針が確立されておらず、さらに後遺症を残す恐れがある病気です。



## 「みんなが使える物、道具」

矢野小学校 6 年 後藤 祐護

「何だこれ？」

リンスについている点。これは何だろう。

お父さんに聞くと、

「これは、目の不自由な人がさわって、シャンプーとリンスを見分けるためにについているんだよ。」

「へえ〜。」

ぼくは、このちょっとした印が、目の不自由な人の生活を便利にしているのだと感心しました。それに、シャンプーをしていて、目が開けられない時もあるので、みんなの役に立つなと思いました。

その後、ぼくは、体の不自由な人が生活しやすいように、どんな物があるか調べてみました。

まず、目の不自由な人のために点などの印がついている物。お酒かジュースかを見分ける点や、テレビのリモコンや電話の「5」のボタンについている点、そして、点字です。点字は、目の不自由な人がさわって読む字です。デパートや公共施設など大勢の人が利用する場所にあります。

次に、手や足の不自由な人のために作られた物。にぎる力が弱い人でも持ちやすい形に曲げられたスプーン、フォーク、そして、みんなもよく知っているペットボトルに付けて使うストローなどがあります。ペットボトルのキャップは、かたくて開けにくいことがあります。でも、ペットボトルに付けるストローは、ワンタッチでふたが開いて、ストローが飛び出してきて便利なので、ぼくも使ったことがあります。他にも、体の不自由な人が生活しやすくするために、いろんな物があっておどろきました。

体の不自由な人のためのものを調べていくうちに、体の不自由な人が使いやすい物は、みんなも使いやすい物でもあることに気づきました。そんな物や道具は、たくさんの人が、使う人の身になって考えられたのだと思います。ぼくも、いろんな立場や状況の人を思いやり、たくさんの人が使いやすい物や道具を作りたいです。そして、だれもが安心してくらせるようにしていきたいです。



## 「のじぎく文芸賞」作品募集中

～あなたの思いを作品に書いてみませんか～

**募集部門**／詩、随想(手記・作文を含む)、小説、創作童話

**応募条件**／兵庫県内に在住、在勤、在学の方

**応募作品**／インターネット上を含む未発表・未投稿の自作作品に限ります

※副賞もありますので詳細については兵庫県人権啓発協会HPをご覧ください

**応募方法**／郵送に限ります 9月10日(木)締め切り

(消印有効)

〒650-0003 神戸市中央区山本通 4-22-15

県立のじぎく会館内(公財)兵庫県人権啓発協会「のじぎく文芸賞」係

☎078-242-5355



## 相生市小・中・高校生人権作品の募集について

相生市教育委員会・法務省でも、「人と人がどれだけ優しくつながり合えるか、きずなを深めていくために、つつい自分中心になりがちな考え方を見つめ、乗り越えなければならぬこと、大切にしないといけないこと」を表現することによって温かな人権感覚を養うことをめざし、毎年「標語(小学校5年生以上・中・高校生)、作文(小・中・高校生)、ポスター(小・中校生)、書道(小学校3年生以上)」の募集を行っています。

夏休み明けに審査を行う予定です。夏休み期間にご家族でじっくりといい作品づくりに挑戦してみてください。



平成26年度入選作品

那波小学校 5年 平松 里聡子



平成26年度特選作品

那波中学校 3年 林 来夢

### のじぎく文芸賞・相生市人権作品の題材

- 人の優しさや思いやり、支え合うことのすばらしさが描かれているもの
- 一人ひとりを大切に、心豊かな社会づくりの姿勢が描かれているもの
- 生命や人権の尊さ、大切さが描かれているもの
- 人権課題の解決に向けて、明るい展望をもって描かれているもの